

正副議長記者会見について（報告）

このことについて、令和6年12月19日に行われた正副議長記者会見の発言要旨について、下記のとおり報告いたします。

記

1 定例会の総括について

- 今期定例会は令和6年11月27日から12月19日までの23日間の会期で開催した。
- 市長から提出された案件は、人事案件を含め、計40件を可決した。
- 議員提出議案について、意見書は「より良い教育に向けた持続可能な学校の実現をめざす意見書」1件を可決した。
- 今期定例会で可決した議案数は全部で41件となった。

【(1) 令和6年度堺市一般会計補正予算（第4号及び第6号）について】

- 第4号の補正予算の主な内容は、
 - ・利用者数の増加等に伴う障害者（児）自立支援給付費の所要増
 - ・国の公定価格の増額に伴う認定こども園・幼稚園給付費などの所要増
 - ・米飯の価格上昇に伴い、質を維持した学校給食の提供を行うため、食材費高騰への追加支援
 - ・小学校給食調理場改築工事の実施、学校施設の修繕改修及びインフレスライドに伴う費用
 - ・万博開催時における堺旧港発着の定期航路に必要となる棧橋の設置、安全管理など海上交通関連費用の一部負担などである。
- 第6号の補正予算の主な内容は、住民税非課税世帯及び当該世帯に扶養される18歳以下の児童に対する臨時特別給付金の支給である。
- 本件は、12月19日の本会議において、それぞれ可決された。

【(2) 堺市水道事業給水条例の一部を改正する条例及び堺市下水道条例の一部を改正する条例について】

- 令和7年4月から新たに電子申請による給排水設備工事管理システムの導入により、インターネットを利用して申請手続や支払いができるなど利用者の利便性・サービスの向上を図るとともに、指定排水設備工事業者の指定更新手数料、水道及び下水道の使用及び使用料の納付に係る証明手数料について、受益者負担の適正化を図り、経費に見合った手数料額に見直すため、提案されたものである。
- 本条例は、12月12日の建設委員会の審議を経て、12月19日の本会議において可決された。

【(3) 全会一致の意見書について】

- 今期定例会で可決した「より良い教育に向けた持続可能な学校の実現をめざす意見書」については、全会一致で可決された。

2 堺市・羽曳野市・藤井寺市3市議会合同議員研修会の開催について

- 「百舌鳥・古市古墳群」が令和元年7月に世界遺産に登録されて以降、その魅力発信のため、古墳群を有する堺市、羽曳野市、藤井寺市において様々な取組が行われており、それぞれの議会においても、更なる魅力発信のため、活発な議論が行われているところである。
- 今般、世界遺産登録から5周年を迎え、更なる自治体間の協力体制の強化や課題等について共通認識を持ち、議会における議論の深化につなげていくことを目的に、「百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録5周年～これまでの取組を振り返る～」と題して、3市議会合同で議員研修会を開催する。
- 研修会の講師には、本市の文化観光局歴史遺産活用部世界遺産課長の土井和幸氏に依頼している。
- 研修の開催日時は、令和7年1月21日（火）午後2時45分から1時間程度で、第1・第2委員会室で行う。
- なお、報道機関については、研修開始前の冒頭の撮影等を行っていただくことができる。

3 記者からの質問に答えて

Q 議長・副議長（の記者会見での場で）としては、少し違うかもしれないが、今回の議会の会期中に、高島屋堺店の撤退が発表された。いろいろ取材すると、やはり以前のように広い地域からお客さんを集めてくるのが難しくなっている。今後は、やはり日用品、生活必需品をかなり中心とした店になっていくようだが、堺東駅については、以前から、政令市である堺市にふさわしい顔となるまちであると言われてきたと思うが、このような商業の変化をとらえて、今後の堺東駅の商業の在り方として、どのように見ているのか。せっかくの機会なので、ご意見を伺いたい。

A（議長）

まず、当面の感想となるが、今回の高島屋の件について、正直私も驚いた。難波、堺東、泉ヶ丘に高島屋の店舗がある前提で、堺市にとって商業施設はどのような形がいいのか、この現状でいいのかと常々思っていた。当然利用する度に、品数等にいろんな思いがあって、今回の結果に至ったことは、なんとなく（寂しい）という思いがある。しかしながら、明年の大阪・関西万博等もあるので、何とか商業の皆さんとも、堺市として何ができるのか考え、市長部局と相談しながらではあるが、（盛り上げていきたい。）このままではいけないと思っている。

A（副議長）

私からは、高島屋堺店のオープンが昭和39年の10月ということで、ちょうど私が生まれた年月と同じであり、本当に感慨深いところである。小さいときから家族に連れられ、よく高島屋に行かせていただいた。本当に昔は人がごった返すような状況の店舗であったが、昨今の特にコロナ禍以降、なかなか店舗客数が伸びていないとの状況を聞いていたので、寂しく思っている。業態が変わってきている中で、私自身もネット通販をよく使うこともあり、今後どのように転換していくのか。しかし、中には実店舗に出向き、そのものを見てみたいこともあると思う。ネット通販が主流

になりつつあるが、今お伝えしたように、実店舗でそのものを見てみたい、体験してみたい、そういう店舗が今後は求められてくると思うので、この堺東の活性化のためにも、そのような店舗の誘致も必要になると思う。

A（議長）

併せて、今堺市基本計画 2025 にもある中心市街地の活性化について、副議長ともいつも話している。高島屋堺店の店舗の中に、堺市マイナンバーカード普及促進センターがあり、様々なところで連携していると思っている。一旦高島屋堺店が判断されたので、次は、事前に我々も商業の活性化について考えていく必要があると思う。